

成城美学美術史学会 第9回例会

2019年9月13日(金) 於 成城大学7号館3階731教室

13:30～ 受付開始

14:00 開会

【修士論文構想発表】

14:05～14:45 黒崎夏央

「薬師寺金堂薬師三尊像の研究」

14:45～15:25 武者みずほ

「サルバドール・ダリの核神秘主義時代におけるデペイズマン概念の拡張」

～10分休憩～

15:35～16:15 井上貴瑛

「20世紀の聖なる芸術におけるジャン・リュルサ《女と竜》のタピスリーについて」

16:15～16:55 柳澤広美

「インガルデンの芸術理論—純粹志向的対象としての芸術作品」

～10分休憩～

【研究発表】

17:05～17:45 野田由美意

「ナチス時代における『若きラインラント』の作品の蒐集について」

17:50 閉会

【懇親会】

18:00～20:00 一次会 (於 7号館地下ラウンジ)

会費：専任教員 4,000円、非常勤・OBOG 2,500円、大学院生は無料。

※受付にて係の者にお支払い下さい。お釣りの無いようご準備くださいますと幸いです。

20:30～ 二次会 (於 てん 成城店)

会費：教員・OBOG 3,000円、学生 1,000円 (変更の可能性あり。)